



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.21
令和5年3月15日
文責：校長 福島

つながっていたい



昨日お別れ集会を行いました。各学年と先生からのメッセージを教室で視聴しました。

私はあたたかい心の交流を感じたくて、6年生の教室で一緒に視聴しました。どの学級に行っても気持ちよく私を迎え入れてくれ、学級の一員のような感覚で過ごすことができます。下級生のメッセージに6年生は様々な反応を見せながら、吸い込まれるように画面を見ていました。私の隣に座っていた子は、「中学校でもがんばってください」という下級生の言葉に「がんばります」とつぶやいていました。2年生が「ありがとうの花」を歌うと、みんな体を揺らしながら一緒に歌っていました。各学年の終わりには、自然とあたたかい拍手が。

泣いてはいないのですが、ずっと顔を手で覆っている子もいました。何とも言えないちょっと寂しいような、感謝の気持ちを受け取ってうれしいような、友達や先生とこの教室で過ごすのもあと3日というような、いろんな思いがあるのでしょうね。

上の写真は教室の後ろから撮りました。友達と肩を寄せ合いくっついていてる子が多かったです。子供から大人に変わる微妙な時期の、誰かとつながっていたいというそんな気持ちなのでしょう。安心して過ごしている姿をうれしく思いながら見守りました。

集会の終わりに、1年生が手紙を持ってやってきました。とび出す手紙をもらった6年生は感謝・感激！ 小学校で過ごす6年間に様々なつながりをつくること、そして何を学ぶかって本当に大切なことであることを改めて感じました。



当たり前のようにつながりをつくるのが困難な3年間を乗り越えた6年生が卒業します。「つながっていたい」この思いを大切にしていってほしいことを願います。